

私立大の半数近くが“ネット出願”を実施！

—国公立・私立あわせて72大学が新たに導入—

平成27年9月 旺文社 教育情報センター

大学入試で、従来の紙の願書でなく、インターネットを利用して出願できる大学が急増している。私立大では、ここ3年のうちに、半数近くの大学で「ネット出願」を導入するに至った。「いつでも、手軽に、記入ミスなく」出願できるといわれる「ネット出願」の最新実施状況と、一方で抱えるさまざまな課題を、大学・高校へのアンケート結果をもとに紹介する。

PART.1 大学へのアンケート結果

☆ネット出願実施校の4割近くが、紙の願書を廃止して“全面移行”

旺文社『螢雪時代』編集部では、全4(6)年制大学(通信制を含む)に対し、ネット出願と、それに伴う受験料割引(ネット割)の2016年(以下、16年)入試における実施についてアンケート調査を行い、9月上旬までに国公立156大学、私立521大学から回答を得た(回収率=90.1%)。

※本調査における「ネット出願」は、大学ホームページの専用画面で、入試に対しエントリー(住所・氏名等の個人情報、受験希望の学部・学科等、方式・日程等を入力し、登録または受験番号が発行される)の段階まで可能な出願(調査書、作成した出願票の印刷等を郵送して完了)に限定した。

※比較対象の前年同時期調査(2015年入試)は、国公立150大学、私立501大学の集計(回収率=87.0%)

その結果、私立大では「①既に導入済み」「②新規導入が決定」「③新規導入を検討中」を合わせ、全体の約45%と半数近くに達し、15年の約32%を大幅に上回った(グラフ1)。一方、「④17年度以降の実施を検討」は約33%→約26%、「⑤導入の予定なし」は約34%→約29%と比率が低下した(15年→16年)。

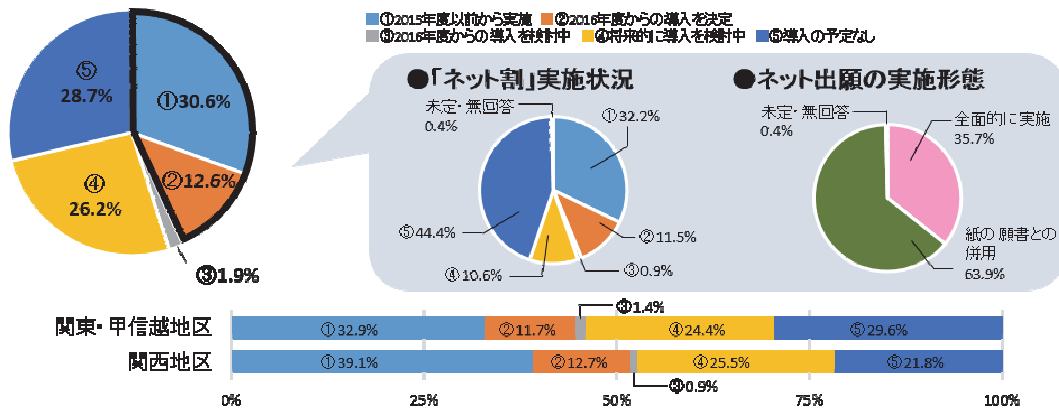
ネット出願を実施する私立大は前年比で約43%増の221大学(9月上旬現在。通信制や、留学生・帰国生・社会人等の特別入試を除く)だが、そのうち68大学がネット出願の対象となる入試で全面実施(紙の願書を廃止)し、98大学がネット割も行う(全面実施に移行し、受験料減額を継続する場合も含む)。青山学院大・学習院大・専修大・東京理科大・明治大・南山大など66大学が新規実施。さらに、同志社大なども16年入試での導入を検討中だ。

一方、国公立大では④⑤をあわせ約92%と消極的だが、それでも新規実施の国立6大学(豊橋技術科学大・奈良教育大・徳島大・鳴門教育大・香川大・高知大)を含め10大学で実施する。

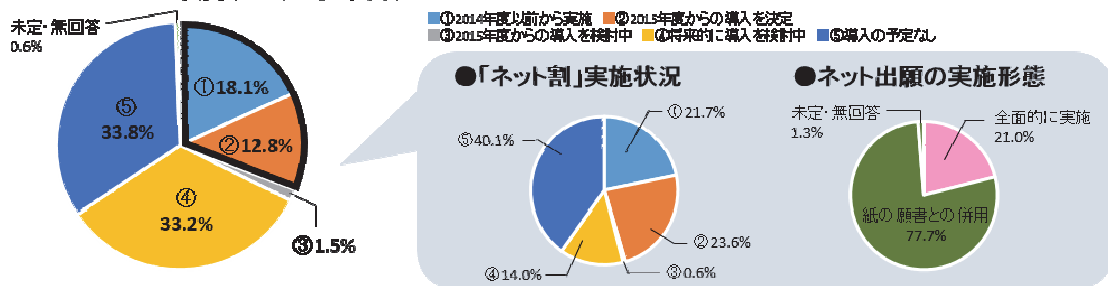
私立大のうち、大学が集中する関東と関西の2地区を比較すると、①②合計の比率が、関東に対し関西の方が高く、逆に⑤の比率は関東の方が高い。ただし、⑤に関しては、その差は15年よりやや縮まった(関東33.5%→29.6%、関西24.0%→21.8%:15年→16年)。

グラフ1 私立大学 インターネット出願 実施状況

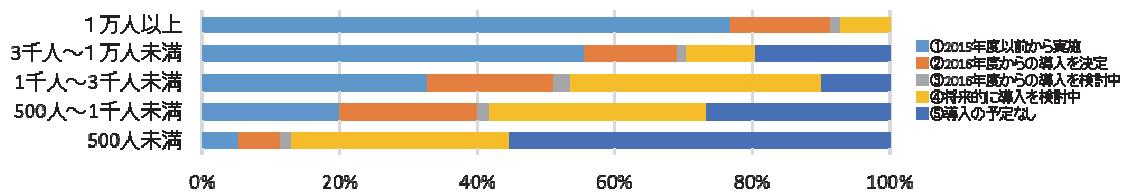
●2016年度(521大学集計)



●2015年度(501大学集計)



グラフ2 私立大学 大学規模別インターネット出願実施状況



また、各大学の15年一般入試の志願者総数で5つのグループ（1万人以上、3千人～1万人未満、1千人～3千人未満、500人～1千人未満、500人未満。非公表等の大学を除く）に分けて、16年の実施状況を集計すると（グラフ2）、ネット出願実施校（①②の合計）の比率が「1万人以上」で約91%と最も高く、次いで「3千人～1万人未満＝約69%、1千人～3千人未満＝約51%、500人～1千人未満＝約40%、500人未満＝約11%」と続く。規模の大きさとネット出願の導入率はほぼ比例しているが、はっきりした分岐点は前年度の「志願者1千人以上」から「志願者500人以上」に下降。周囲の競合大学が相次いで導入する中、小規模大学でも導入せざるを得なくなっているようだ。

私立大のネット出願実施校（①②の合計）のうち、現時点では「紙の願書との併用」が多数派（約64%）ながら、「全面的に実施」が約36%と、15年（約21%）より比率が高まった。一方、ネット割の実施校（新規実施を含む）は約44%に達するが、前年（約45%）よりわずかに比率が低下。「導入の予定なし」も同程度（約44%）を占め、ネット割に対する慎重な姿勢と、全面実施する大学の増加でネット割の必要性が薄れた（理由は後述）ことを物語る。特に、新規導入

校ではネット割を行わない方が多数派（66 大学中 41 大学）だ。ただし、受験料を減額したまま全面移行した場合、大学によって回答が「導入済み」と「導入の予定なし」に分かれることに注意する必要がある。

ネット出願には、ネット環境（パソコンやプリンターなど）さえあれば「いつでも（出願締切日の夜中でも、願書が手元になくても）」「どこでも（自宅や学校でも）」「ミスを未然に防げる（入力内容を画面上で再確認でき、再入力もできる）」など、受験生の利便性を高めるメリットがある。大学にとっても、①紙の願書の製作費を節約できる、②記入ミスをチェックする手間と要員を減らせるなど、コストダウンが見込め、出願状況もより早く把握できるという。また、ネット割には、コスト削減分を受験生に還元するとともに、ネット出願自体の利用率アップや、志願者増に結びつく効果がある。ただし、解決すべき課題も多い。

紙の願書と併用する大学では、処理ラインが並行し、かえって業務が複雑化し、コスト削減につながらなかったという。ネット出願への全面移行が増えたのも、コストダウン効果の最大化が目的といえる。高校の先生の「紙の願書も存続」との要望（後述）と食い違い、大学としては悩ましいところだ。

15 年入試では、一部の大学で出願締切日にアクセスが集中し、ネット出願のサーバーがつながりにくくなる問題も生じた。こうした大学では出願期間の延長や、受験生への周知・説明などの対応を行い、今後の対策としてはサーバーの容量拡大や分散化が施される予定だ。とはいえ、ネット出願でも締め切り間際の出願は避けた方が安全だ。

ネット出願を実施しない大学があげられるおもな理由は「費用対効果」（システム構築など初期投資に対し、規模の点からコストダウンの効果が見込めない。特に小規模校にこの意見が多い）、「情報流出の懸念」（セキュリティ管理への不安）の 2 点に集約される。現在のネット出願は、最終的に調査書、画面上で登録した出願票の出力紙などの郵送が必要（これを受験生が忘れるトラブルも出てきている）で、利便性向上やコストダウンに限界がある。また、個人情報の集積である出願データの流出防止には大きな責任が伴う。

ネット割を実施しない理由としては、全面移行してネット割の必要がない大学以外では、すでに学内併願の受験料割引（いわゆる併願割）や受験料自体の減額を行っているから、との回答が多い。ネット割実施校も含め、収入減を懸念する声や、「ネット環境のない受験生との公平性」に配慮する回答もあった。

なお、ネット出願およびネット割の実施大学一覧（9 月上旬現在の判明分）を最後に掲載したので、参考にしてほしい。

PART. 2 高校の進路指導先生への調査結果

☆評価は高まったが、安易な出願への懸念と、「紙の願書との併用」を望む声が多数

一方、受験生を送り出す側の、高校の進路指導の先生は、ネット出願やネット割についてどう評価しているのだろうか？ 『螢雪時代』編集部では、全国各地区の高校の進路指導の先生にネット出願に関する意識調査（8 月 7 日締切）を行い、74 校の回答を得た。

回答結果を見ると、生徒のネット出願の利用状況については「把握している：13 校、一部把握：32 校、把握していない：28 校、無回答：1 校」で、紙の願書に比べ出願状況の把握の難しさがうかがえる。ネット出願への対応は「積極的に推奨：3 校、できるだけ紙の願書を推奨：6

校、生徒の自由に任せる：65校」と基本的に生徒の自由に任せる傾向が強い。

生徒がネット出願を行う手段については（**グラフ4**：複数回答可）、「自宅のパソコン」が約58%、「本人のスマートフォン」が約29%と合わせて9割近くを占め、「学校のパソコン」は約9%に留まる。学校では出願票の出力など、主にプリンター利用が目的のようだ。

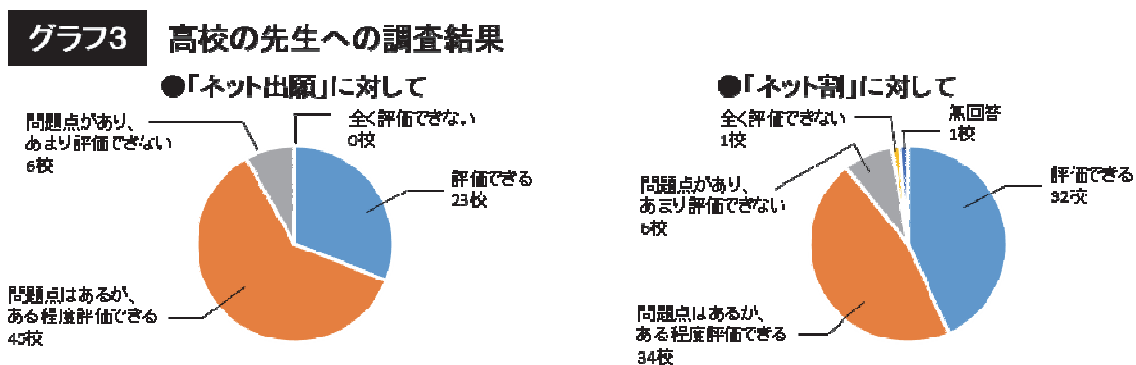
ネット出願・ネット割に対する評価（**グラフ3**）は「評価できる」「問題点はあるが、ある程度評価できる」を合わせ、ネット出願が68校、ネット割が66校と、いずれも9割に達する。インターネットが普及し、「ネット出願のみ」の大学も増えた環境の変化から、この出願方式自体は受容されている（または、せざるを得ない）ようだ。

評価できる点は、ネット出願では「記入ミスの減少」と「締切日直前でも出願できる」、ネット割は「生徒の経済的負担の軽減」に集約される。ただし、「あまり評価できない」「全く評価できない」の合計も、ネット出願で6校、ネット割で7校ある。

評価する場合も、必ずしも全面的に肯定しているわけではない。まず、気軽に出願できることを問題視する声が多い。先生が出願状況を把握しにくいいため、適切な指導ができないまま、大学案内や募集要項をよく読まない、**安易な出願**につながる恐れがあるという。また、うっかり誤入力したままの出願（受験学科や入試方式の選択ミスなど）や、調査書や出願票出力紙を最後に郵送するのを忘れるなど、思わぬミスやトラブルも起こっている。このため、ネット出願時の注意点をまとめ、生徒に配布する高校も出てきている。

「個人情報の流出」を懸念する声もある。ネット出願がはらむ最大のリスクといえ、実施しない大学の理由とも一致する。

「ネット環境のない受験生への配慮」を求める声も多い。特に、「ネット出願のみ」の大学が増えたことへの危機感が感じとれる。出願票を印刷して郵送する必要があるが、プリンターのない家庭もある。高校のパソコンやプリンターの数にも限りがあり、しかも個人情報を扱うため、気軽に使用を許可できない。ネット環境を持つ受験生との公平性の観点から「紙の願書も残してほしい」「受験料自体の減額など、全受験生を対象とした還元を」といった意見が多くみられた。



●これだけある！ 2016年入試に“ネット出願”できる大学（2015年9月現在）

【表の見方】①表中、インターネット出願に伴う受験料割引＝ネット割、センター試験利用入試（一般・センター併用入試を含む）＝セ試利用、と略記。／②「大学名」欄で、★＝ネット出願とネット割を新規実施、☆＝ネット出願を新規実施（ネット割は実施しない）、◆＝既実施大学でネット割を新規実施、を示す。／③「対象となる入試方式等」欄では、特定の方式等に限定する場合を除き、「一般入試」「セ試利用入試」「推薦入試」「AO入試」と大きく表示した。／④「実施形態」欄では、対象となる入試方式等について、「○」＝ネット出願で15年以前から全面実施（紙の願書なし）、「●」＝新たに全面実施に移行（紙の願書を廃止）、「*」＝一部が全面実施（備考も参照）、「-」＝紙の願書と併用、を示す。／⑤「ネット割」欄で、「○」は実施校を、「○→」は受験料を減額したままネット出願に全面移行、「-」は実施しないことを示す。また、備考欄において、ネット割の減額について記載するのは、「紙の願書と併用」の大学のみに限定。／⑥大学院や留学生・帰国生・社会人等の特別入試、通信制大学・学部については当表の対象外とした。／⑦詳細は、必ず各大学の募集要項やホームページで確認してほしい。

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
お茶の水女子大(国立)	前期日程、後期日程	-	-	
豊橋技術科学大(国立)☆	前期日程、推薦入試	●	-	
奈良教育大(国立)☆	前期日程、後期日程	●	-	
広島大(国立)	前期日程、後期日程、AO入試、推薦入試	*	-	*＝推薦入試はネット出願のみ
徳島大(国立)★	前期日程、後期日程	-	○	検定料払込手数料を割引
鳴門教育大(国立)☆	前期日程、後期日程	-	-	
香川大(国立)☆	前期日程、後期日程	-	-	
愛媛大(国立)	前期日程、後期日程、AO入試(スーパーサイエンス特別コース)	-	-	一般入試に対象を拡大
高知大(国立)☆	前期日程、後期日程	-	-	
三重県立看護大(公立)	前期日程、後期日程、推薦入試	●	-	
札幌学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円、セ試利用2,000円を割引
道都大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
北海道医療大	一般後期、セ試利用前期B・後期B	-	-	
北海道科学大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
北海道情報大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円、セ試利用1,000円を割引
北海道文教大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試、特待生入試	-	-	
東北学院大★	一般後期、セ試利用後期	-	○	出願1回につき5,000円割引
東北福祉大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
東北薬科大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	16年4月から「東北医科薬科大」に名称変更予定
足利工業大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき2,000円割引
白鷲大	学業特待入試、一般入試	-	-	
埼玉工業大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
十文字学園女子大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般5,000円を割引(他に併割あり)
城西大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円を割引。また、セ試利用は2学科以上の併割を、一律25,000円に減額。
駿河台大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	併割割引はあり
聖学院大	一般入試、推薦入試	-	-	
東京国際大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき、一般・推薦・AOは5,000円割引、セ試利用は7,000円割引
獨協大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	セ試利用のみ、2出願めは無料、3出願め以降は8,500円割引
日本医療科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
日本工業大	一般入試、セ試利用入試、特別奨学生2期、AO入試	-	○	出願1回につき2,000円を割引(AO入試を除く)
文教大◆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	複数回受験割引(異なる入試間で併割する場合)の対象となる。2出願目以降、10,000円割引
神田外語大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
城西国際大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	一般入試とセ試利用入試をネット出願で同時併割すると3,000円割引
聖徳大	一般入試、セ試利用入試、実技特別、特別奨学生入試(一般、セ試利用)、推薦入試、特別奨学生入試	-	○	出願1回につき、一般・推薦等は5,000円割引、セ試利用は2,500円割引
千葉工業大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
千葉商科大	一般入試、セ試利用入試	-	○	一般前期とセ試前期3科目をネット出願で同時併割すると、セ試前期3科目を5,000円割引

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
中央学院大	一般入試、セ試利用入試	●	-	
東京情報大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	-	
明海大	一般入試、セ試利用入試(歯以外の全学部)	-	○	出願1回につき5,000円割引
麗澤大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
青山学院大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	
亜細亜大	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	受験料総額から3,000円割引
跡見学園女子大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
大妻女子大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
桜美林大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
嘉悦大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
学習院大☆	一般入試	-	-	
共立女子大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
杏林大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試(医以外の全学部)	●	○→	2学科目以降を5,000円割引
恵泉学園大★	一般入試、セ試利用入試、特別スカラシップ入試	-	○	一般入試のみネット割を実施
工学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
國學院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般入試は5,000円割引。また、一般入試とセ試利用をネット出願で同時併願すると、セ試利用も3,000円割引
国際基督教大	一般入試、AO入試	●	-	一般入試に対象を拡大
国士館大	一般入試、セ試C方式Ⅱ・Ⅲ期	*	-	* = 一般中期はネット出願のみ
駒澤大	一般入試、セ試利用入試	●	-	
産業能率大	一般入試、国公立大学併願入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
実践女子大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
芝浦工業大	一般入試、セ試利用入試	●	-	
順天堂大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	
上智大	一般入試、TEAP利用型入試、公募推薦	◎	-	公募推薦を対象に追加
昭和女子大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	-	* = 一般・セ試利用・推薦がネット出願のみに移行
成蹊大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
成城大	一般入試、セ試利用入試	◎	-	
聖心女子大☆	一般入試	-	-	
清泉女子大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
専修大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般3,000円、セ試利用2,000円を割引
創価大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき3,000円割引
大正大	一般入試、セ試利用入試	●	○→	出願1回につき5,000円割引
大東文化大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	●	-	併願割引あり
拓殖大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
玉川大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
中央大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
帝京大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試(医を除く)	-	○	出願1回につき1,000円割引
帝京科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
東海大	一般A方式、一般B方式、理系学部統一入試、セ試利用入試	*	一○	* = 医学部のみ、紙の願書と併用(出願1回につき3,000円割引)
東京医療保健大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京家政大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき1,000円割引

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
東京経済大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京工科大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	○	出願1回につき3,000円割引／* = 推薦・AO入試はネット出願のみ
東京工芸大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京成徳大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき2,000円割引
東京電機大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき、一般5,000円、セ試利用2,000円を割引
東京都市大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	○	受験料総額から1,000円割引。さらに、セ試利用入試は併願割引あり／* = 推薦入試、AO入試はネット出願のみ
東京農業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	-	
東京福祉大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
東京薬科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
東京理科大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	
東洋大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	
二松学舎大★	一般入試、セ試利用入試	●	○→	一般入試=バック料金を導入、セ試利用=5,000円減額
日本大	一般入試、セ試利用入試	*	-	* = 一般N方式(学部共通日程)はネット出願のみ
文京学院大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
法政大	一般入試、セ試利用入試、理工・機械工<航空操縦学専修>のセ試利用入試、自己推薦、特別入試	*	-	* = 理工・機械工<航空操縦学専修>のセ試利用入試、自己推薦、特別入試の一部はネット出願のみ
武蔵大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
武蔵野大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	◎	○→	複数併願時のバック料金は継続
武蔵野美術大☆	一般入試	-	-	
明治大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	
明治学院大	一般入試、セ試利用入試	*	-	* = 一般B日程、セ試利用後期はネット出願のみ
明星大	一般入試、セ試利用入試、スカラシップ	-	○	出願1回につき一般5,000円、セ試利用2,000円を割引
目白大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
立正大	一般入試	-	-	
和光大	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	一般入試は受験料を5,000円減額
神奈川大	給費生試験、一般入試、セ試利用入試	◎	-	併願割は実施
神奈川工科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	◎	-	
関東学院大	一般入試、セ試利用入試、AO入試	-	-	
相模女子大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
女子美術大☆	AO入試	-	-	エントリーは郵送
洗足学園音楽大	一般入試、AO入試	-	○	出願1回につき22,000円割引
新潟医療福祉大	一般入試、セ試利用入試、AO・推薦等合格者対象特待生選抜	-	○	出願1回につき3,000円割引
新潟薬科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
金沢学院大☆	一般入試、セ試利用入試(予定)	-	-	
金沢工業大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
金沢星稜大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
仁愛大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
福井工業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき5,000円割引(併願割もある)
諏訪東京理科大☆	一般入試、セ試利用入試	-	-	
朝日大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
岐阜医療科学大★	一般入試、セ試利用入試、特待生入試	●	○→	併願割を実施
岐阜女子大	セ試利用入試	-	-	

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
岐阜聖徳学園大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	○	併願割を実施
静岡産業大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試、特別入試	●	-	
静岡理工科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
常葉大	一般入試、セ試利用入試、奨学生入試、特待生入試	-	-	
愛知大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
愛知学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引、併願による割引もあり
愛知工業大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
愛知淑徳大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
愛知文教大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
金城学院大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
椋山女学園大	一般入試、セ試利用入試	*	○	出願1回につき5,000円割引／* = 一般B・セ試利用Bはネット出願のみ
大同大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	○→	出願1回につき5,000円割引、一般・セ試併用は無料
中京大	一般入試、セ試利用入試	◎	○→	受験料減額は継続(併願割)
中部大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
東海学園大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	-	
名古屋外国語大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	●	○→	ネット出願すると、どれだけ受けけても上限35,000円(セ試利用のみなら上限15,000円)
名古屋学院大	一般入試、セ試利用入試、特別奨学生入試	◎	○→	出願1回につき5,000円減額。さらに併願割引もあり
名古屋学芸大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試Ⅱ	●	○→	ネット出願すると、どれだけ受けけても上限35,000円(セ試利用のみなら上限15,000円)
名古屋商科大	一般入試、セ試利用入試、特待生入試、公募推薦	-	-	
名古屋女子大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
名古屋文理大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき一般入試10,000円、セ試利用5,000円を割引
南山大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	
日本福祉大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門・総合学科推薦	-	-	公募推薦を対象に追加
皇學館大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	-	
鈴鹿医療科学大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	単年で3,000円割引。一般入試とセ試利用方式を同時出願、または推薦の2方式を併願すると10,000円割引
長浜バイオ大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
大谷大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	
京都学園大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
京都光華女子大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	-	
京都産業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	○→	受験料減額は継続
京都女子大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
京都精華大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき5,000円割引(セ試利用入試を除く)
京都造形芸術大	AO入試	-	-	
京都橘大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	*	○	出願1回につき5,000円割引／* = 自己推薦はネット出願のみ
京都文教大	一般入試、推薦入試、AO入試	-	○	通常の半額
同志社女子大	一般入試、セ試利用前期	-	-	
佛教大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
立命館大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
龍谷大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	○→	同一出願期間の入試単位(「公募推薦(面接重視、小論文)」「公募推薦(2教科型、英語型、専門高校:農以外)」「公募推薦(専門高校:農)」「一般A日程・セ試利用前期」「一般B日程・セ試利用中期」「一般C日程」「セ試利用後期」)で、受験料総額から5,000円割引
追手門学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、小論文入試	◎	○	出願1回につき、一般入試は5,000円割引。他に併願割引あり

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
大阪大谷大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	○→	出願1回につき5,000円減額
大阪学院大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	○	出願1回につき5,000円割引／* = AO、ファミリー推薦はネット出願のみ
大阪経済大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
大阪経済法科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦等	-	○	ネット出願の場合、3万5千円で2方式まで出願可。それ以上は4万円上限で出願可
大阪工業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門高校特別推薦	◎	○→	出願1回につき、受験料の総額から5,000円割引／専門高校特別推薦を対象に追加
大阪国際大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	●	-	
大阪産業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、スポーツ推薦、AO入試	◎	○	出願1回につき5,000円減額
大阪樟蔭女子大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
大阪商業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき一般入試3,000円、セ試利用1,000円を割引
大阪成蹊大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき3,000円割引
大阪電気通信大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
大阪人間科学大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
大阪物療大	一般入試、公募推薦	-	-	
大阪薬科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	-	
関西大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
関西医科大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
関西医療大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	-	
関西外国語大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	-	
関西福祉科学大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
近畿大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	◎	○→	受験料減額(3,000円)は継続
四天王寺大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき、推薦・一般は3,000円割引
摂南大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門・総合推薦、AO入試(2次選考)	◎	○→	受験料減額は継続
相愛大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
太成学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき5,000円割引
桃山学院大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	○→	受験料減額(5,000円)は継続
大和大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
大手前大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき5,000円割引
関西学院大	セ試利用入試	-	-	
関西福祉大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき3,000円割引
近大姫路大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	16年4月から「姫路大」に名称変更予定
甲南大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	*	-	* = 公募推薦はネット出願のみ
甲南女子大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
神戸学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	◎	○→	受験料減額(5,000円)は継続
神戸松蔭女子学院大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	○→	受験料減額(5,000円)は継続
神戸女子大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	●	-	
神戸親和女子大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
神戸薬科大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
姫路獨協大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
武庫川女子大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	公募推薦・一般入試について、2併願め以降は3000円割引
流通科学大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	○	出願1回につき5,000円割引。さらに併願割引もあり／* = 一般入試、セ試利用入試は16年からネット出願のみ
畿央大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	

大学名	対象となる入試方式等	実施形態	ネット割	備考(実施形態・ネット割の内容など)
帝塚山大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	-	
岡山理科大	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
倉敷芸術科学大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
山陽学園大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	-	
広島経済大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	○→	一般入試・セ試利用を同時併願した場合、5,000円割引
広島工業大	一般入試、セ試利用入試	-	-	
広島国際大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、専門・総合学科特別推薦	◎	○→	出願1回につき3,000円割引
広島修道大	一般入試、セ試利用入試	*	○	出願1回につき、一般は3,000円割引。さらにセ試利用との併願割引もあり／* = 一般後期・セ試利用後期はネット出願のみ
広島女学院大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
広島文化学園大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき3,000円割引
安田女子大☆	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	●	-	
梅光学院大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	●	-	出願1回につき、一般・推薦は3,000円割引
山口東京理科大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	16年4月から「私立→公立化」の予定
四国大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき一般・推薦は3,000円を割引
徳島文理大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき一般・推薦・AOは3,000円を割引
松山大☆	一般入試、セ試利用入試	●	-	
九州産業大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO2期	◎	○→	出願1回につき一般・推薦・AO2期5,000円、セ試利用3,000円を減額(一般・セ試併用を除く)
久留米大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	-	○	出願1回につき一般・推薦5,000円、セ試利用3,000円を割引
久留米工業大★	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、AO入試	-	○	出願1回につき一般・推薦・AO2,000円、セ試利用1,000円を割引
西南学院大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦	-	○	出願1回につき一般・推薦3,000円、セ試利用2,000円を割引
筑紫学園大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	◎	-	
中村学園大★	一般入試、セ試利用入試	-	○	出願1回につき一般・推薦3,000円、セ試利用2,000円を割引
西日本工業大◆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき一般・推薦・AO2,000円、セ試利用1,000円を割引
福岡大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試	*	○	出願1回につき一般・推薦5,000円、セ試利用3,000円を割引／* = 一般後期・セ試利用Ⅱ期・スポーツ科学部特別はネット出願のみ
福岡工業大	一般入試、セ試利用入試、公募推薦、特別推薦後期	-	○	出願1回につき一般・推薦2,000円、セ試利用1,000円を割引
福岡女学院大★	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	○→	出願1回につき2,000円減額
西九州大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	●	-	
長崎国際大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	○	出願1回につき2,000円割引
熊本学園大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	*	-	* = 一般・セ試利用・推薦はネット出願のみ
九州看護福祉大☆	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
日本文理大	一般入試、セ試利用入試、推薦入試、AO入試	-	-	
立命館アジア太平洋大	一般入試、セ試利用入試	-	-	

(注1)上記の他、北海道大が私費外国人留学生、筑波大が私費外国人留学生・帰国生・国際バカロレア等、立教大が帰国生・留学生・社会人、早稲田大が帰国生・外国学生・英語プログラム等を対象に実施(ネット割はなし)。/(注2)通信制大学では、ビジネス・ブレイクスルー大、星槎大、八洲学園大、サイバー大が実施(ネット割はなし)。人間総合科学大の通信制も実施(通学制の方は紙の願書のみ)。